発行日　2009 年 4 月 20 日　2版

製品安全データシート

1.　化学物質等および会社情報

【製品名】　モールドリリース SP-53WA(エアゾール)

【製造者】　小池化学株式会社
東京都墨田区錦糸町 3 丁目 2 番 1 号
TEL：03-5610-5164
FAX：03-5610-5170

【供給者】　東京材料株式会社
東京都千代田区丸の内1丁目6番2号
新丸の内センタービル
TEL：03－5219－2181
FAX：03－5219－2196
Email:東京材料のホームページ（http://www.tokyozairyo.co.jp/）
内の問合せ窓口をご利用ください。

2.　危険有害性の要約

物理化学的危険性

引火性液体	区分1

人健康有害性

急性毒性（吸入：蒸気）	区分5
皮膚腐食性/刺激性	区分3
生殖細胞変異原性	区分1A
生殖毒性	区分1A
授乳に対する影響	区分外
特定標的臓器/全身毒性（単回暴露）	区分3（麻酔作用）
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）	区分2（心血管系、肝臓）

環境有害性

水生環境有害性・急性	区分2

ラベル表示:

注意喚起語：　危　険

危険有害性情報：
- 眠気またはめまいのおそれ
- 吸入すると有害のおそれ（蒸気）
- 極めて引火性の高い液体および蒸気
- 遺伝性疾患のおそれ
- 軽度の皮膚刺激
- 生殖能または胎児への悪影響のおそれ
- 長期または反復暴露による臓器の障害（肝臓、心血管系）
- 水生生物に有害

注意書き：

【安全対策】
- 防爆型の電気機器／換気装置／照明機器を使用すること。
- 保護手袋を着用すること。
- 容器および受器を接地すること。
- 環境への放出を避けること。
- この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
- すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 使用前に取扱説明書を入手すること。
- 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
- 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 必要に応じて個人用保護具を使用すること。
- 火災を発生しない工具を使用すること。
- 熱／火花／裸火／高温のものから遠ざけること。－禁煙。
- 粉じん／ヒューム／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
- 静電気放電に対する予防措置を講ずること。

【救急処置】
- 気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。
- 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

- 皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断／手当てを受けること。
- 皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。
- 暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断／手当を受けること。

【保管】
- 施錠して保管すること。
- 容器を密閉しておくこと。
- 日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
- 涼しい所／換気の良い場所で保管すること。
- 容器が錆びて破裂や漏出の恐れがあるので、水周りや湿気の多い所に保管しないこと。

【廃棄】
- 内容物／容器を地方自治体の規則に従って廃棄すること。
- 廃棄の際は、中味を使い切ってから、火気のない屋外で噴射音が消えるまでボタンを押し、ガスを抜いてから廃棄すること。

国・地域情報：

3．組成、成分情報

通知対象成分:

化学名 CAS番号	含有量 (%)	化審法: 官報公示 整理番号	PRTR法:	安衛法:	毒劇法:
ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル 9016-45-9	5.0	(7)-172	1-410	該当せず	該当せず
エタノール 64-17-5	0.9	(2)-202	該当せず	政令第18条の2別表第9の61	該当せず

その他の成分:

化学名 CAS番号	含有量 (%)	化審法: 官報公示 整理番号
水 7732-18-5	55.9	対象外
ジメチルエーテル	37	(2)-360

115-10-6		
非開示成分 登録済	1.2	登録済

4. 応急措置

吸入した場合	医師の診断／手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 液体に触れた場合：凍傷を起こすことがある。 凍傷の場合：多量の水で洗い流し、衣服は脱がせない。多量の水かシャワーで皮膚を洗い流す。
眼に入った場合	清浄な流水で 15 分間以上洗顔し、医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	医師の診断／手当てを受けること。
予想される急性症状及び遅発性症状	液体に触れた場合の凍傷。
最も重要な兆候及び症状	知られていない
応急処置するものの保護	保護手袋を着用すること。
医師に対する特別注意事項	安静に保ち、医学的な経過観察を行うこと。

5. 火災時の措置

危険性/可燃性	引火性液体（可燃性エアゾール）
消火剤	粉末、炭酸ガス、ドライアイス、又は粉末消火器。
特別な消火活動	閉塞された場所で消火活動をする場合は自給呼吸装置を付けること。
異常な火災や爆発	知られていない。
容器の取扱い	爆発や有害な蒸気を含んでいる可能性があるので、空の容器を切ったり穴を開けたり、溶接したりしないこと。 容器を日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。 容器が錆びて破裂や漏出の恐れがあるので、水周りや湿気の多い所に保管しないこと。 使い切って捨てること。

6. 漏出時の措置

小規模な漏出	吸水性のもので吸収させる。
大規模な漏出	発火の原因になるものを取り除く。当製品の蒸気は空気より重く、広範囲に広がるかもしれなく、低い場所に集まるかもしれない。当製品が下水や排水溝への流出、また地下への浸透することのないようにし、当製品を採取し、残ったものを活性炭等で吸着する。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い及び保管の注意事項

人体に向かって噴霧しないこと。又噴霧気体を直接吸入しないこと。
高圧ガスを使用した可燃性の製品であり、炎や火気などの高温物の周辺では使用しないこと。
火気を使っている室内で大量に使用しないこと。また、火の中に入れないこと。
使い切って捨てること。
目に入らないように気をつけること。
水と反応する物質等と一緒に保管しない。
火気、熱源から遠ざけて保管する。
高温にすると破裂、引火の危険があるため、直射日光を避け、暖房器具の近く、車中、火気等、
温度が40℃以上となる場所には保管しないこと。
容器が錆びて破裂や漏出の恐れがあるので、水周りや湿気の多い所に保管しないこと。
乳幼児の手の届かない場所に保管し、いたずらをしないよう注意する。

他の注意事項

皮膚に触れたり、眼に入る可能性がある場合には、保護具を着用する。
炎、火花又は高温体との接触を避けると供に、みだりに蒸気を発散させない。

8. 暴露防止および人に対する保護措置

内容物	OSHA PEL TWA/ STEL	ACGIH TLV TWA/ STEL	備考
エタノール	1,000 ppm		皮膚

暴露限界　エタノール成分として 1000ppm（OSHA）

防護マスク　局所排気または自動排気を使用する。防護マスクはこれらの排気が不可能な場合、使用する。

防護手袋　不浸透性の手袋(ｸﾛﾛﾌﾟﾚﾝﾗﾊﾞｰ、塩ビ、NBR 製の手袋)

目の防護　サイドにシールドの付いた安全メガネまたはケミカルゴーグル。

他の防護装備　肌への付着を避ける為の適切な服装。

9. 物理的および化学的性質

引火点	-80℃（ジメチルエーテル）
沸点	-23.6℃（ジメチルエーテル）
比重	1
蒸気圧(mm Hg)	水と同等
蒸気密度（空気=1）	1.6（ジメチルエーテル）
揮発性	90 – 99（重量比%）
蒸発率（水=1）	< 1
水に対する溶解度	混ざる
PH	5.0 – 7.0
外観とにおい	液体, 芳香臭

10. 安定性および反応性

安定性	安定
避けるべき条件	知られていない
一緒に保管できないもの	水と反応する物質
有害分解成生物	知られていない
有害生成物質	発生しないと考えられる
避けるべき条件	知られていない

11. 有害性情報

危険有害性項目		有害性情報
急性毒性	経口	ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：LD50 ＞15,900 mg/kg（CERI・NITE 有害性評価書 No.96 (2004)）。 エタノール：「ラット経口 LD50 = 6.2 – 17.8 g/kg bw. ＞ 5 g/kg bw」（DFGOT vol.7 (1996, p148)）および（Patty (5th, 2005, p385)）の記載がある。 非開示成分：LD50>2000mg/kg （ラット）
	経皮	ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：LD50 ＞10,000 mg/kg（CERI・NITE 有害性評価書 No.96 (2004)）。 非開示成分：LD50 >2000mg/kg （ラット）
	吸入（気体）	ジメチルエーテル:LC_{50}=164,000ppm（ラット）
皮膚腐食性/刺激性		ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：CERI・NITE 有害性評価書 No.96 (2004)のウサギを用いた皮膚刺激性試験の記述に、エチレンオキシドの付加モル数 2～9 の場合の原液が、「中等

	度から強度の刺激性を示した」とある(区分2)。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル：CERI・NITE 有害性評価書 No.96 (2004)の記述に、ウサギを用いた眼刺激性試験のエチレンオキシドの付加モル数 2～15 の場合の原液が「中等度から強度の刺激性を示した」とある(区分 2A)。 エタノール：「OECD TG405 および Draize test に従った試験により、moderate と分類されている」(DFGOT (1996))こと、また「ヒトで角膜上皮の傷害、結膜充血は1、2日間で回復する」(ACGIH (2001))と記述がある(区分2A)。
生殖細胞変異原性	エタノール：ラットおよびマウスにおける優性致死の報告およびマウス生殖細胞における異数性誘発の報告(DFG (1999), IARC (1988))がある(区分1B)。
生殖毒性	エタノール：アルコールの習慣的な大量摂取によりヒト胎児に対する奇形その他の悪影響が多数報告されている (DFGOT (1996)) (区分１A)。
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	エタノール：「ヒトでエタノールの経口摂取により中枢神経系に影響を与え、頭痛、疲労、集中力を低下させ(ICSC (2000))、急性中毒の場合は死に至ることがある」(DFGOT (1996))の記載および「ヒトで 5000ppm (9.4mg/L)の吸入により気道刺激性、昏迷、病的睡眠を起こす(ACGIH (2001))との記載に基づき区分3(気道刺激性、麻酔性)。 ジメチルエーテル：ヒトにおいて意識喪失、視野喪失、痛覚喪失などの神経系の影響記載(DFGOT vol.1, 1991)がある(区分3(麻酔作用))。
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル：実験動物については、「雌の肝臓の相対重量増加、病理組織学的検査で、雌雄の肝細胞の脂肪変化」、「顕微鏡観察で心筋の巣状壊死」(NITE 初期リスク評価書 No.96 (2005))等の記述があることから、肝臓、心血管系を標的臓器とすると考えられた。なお、実験動物に対する影響は区分 2 に相当するガイダンス値の範囲でみられた(区分 2(肝臓、心血管系))。 エタノール：「ヒトでアルコールの長期大量摂取によりほとんど全ての器官に障害を起こすが、最も悪影響を与える標的器官は肝臓である。障害は脂肪変性に始まり、壊死と繊維化を経て肝硬変に至る」(DFGOT (1996))の記載(区分1(肝臓))。また、「アルコール中毒患者の禁断症状(振戦症状、てんかん、精神錯乱)」(HSDB、

	(2003))の記載（区分2（神経））。 ジメチルエーテル：ガイダンス値区分2の範囲の上限を超えた用量で顕著な影響は認められない（ラット、ハムスター）（区分外）。
吸引性呼吸器有害性	データが無い。

12. 環境影響情報

危険有害性項目	有害性情報
水生環境有害性（急性）	ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：NPE1.5：甲殻類（ミシッドシュリンプ）の 48 時間 LC_{50}=0.11mg/L（CERI・NITE 有害性評価書、2005）（区分1）。 エタノール：甲殻類（オオミジンコ）の 48 時間 LC_{50}=5463.9mg/L（ECETOC TR91、2003）（区分外）。 ジメチルエーテル：96 時間 LC_{50}>4000mg/L（魚）、48 時間 EC_{50}>4000mg/L　(IUCLID 2000)（区分外） 非開示成分：96 時間 LC_{50}= 2.8mg/L、R51/53 の記述（区分2）。
水生環境有害性（慢性）	ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：データがない。 エタノール：難水溶性でなく（水溶解度=1.00×10^6mg/L（PHYSPROP Database、2005））、急性毒性が低い（区分外）。 ジメチルエーテル：難水溶性でなく、急性毒性が区分外であるため、区分外とする（安全衛生情報センター）。 非開示成分：R51/53 の記述がある（区分2）。

R51：水生生物に毒性がある。

R53：水生環境中で長期的悪影響を引き起こすおそれがある。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物　　廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
廃棄物の処理を依託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装　　容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

［国際規制］

海上規制情報	IMO の規定に従う。
UN No.：	1950
Proper Shipping Name：	Aerosols
Class：	2
Marine Pollutant：	Not applicable.
航空規制情報	ICAO/IATA の規定に従う。
UN No.：	1950
Proper Shipping Name：	Aerosols
Class：	2

［国内規制］

陸上規制情報	消防法の規定に従う。
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号:	1950
品名:	エアゾール類
クラス:	2
海洋汚染物質:	該当せず
航空規制情報	航空法に従う。
国連番号:	1950
品名:	エアゾール類
クラス:	2

［特別の安全対策］

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

化管法（PRTR法）に基づく通知対象の根拠、及び該当する政令別表の番号	ポリ（オキシエチレン）＝ノニルフェニルエーテル： 第一種指定化学物質　政令番号 1-410 号
化審法	ポリ（オキシエチレン）＝ノニルフェニルエーテル： 第3種監視化学物質　通し番号 43 号
安衛法（労働安全衛生法）	エタノール： **法第 57 条の2**、政令第18条の2別表第9の61
毒劇法（毒物及び劇物取締法）	該当しない
消防法	危険物第4類第一石油類

船舶安全法	危規則第3条危険物　引火性液体・高圧ガス
航空法	施行規則第194条危険物　引火性液体・高圧ガス
その他の適用法令	ジメチルエーテル： 高圧ガス保安法 大気汚染防止法　有害大気汚染物質 中環審答申の 103

16. その他の情報

引用文献

１．MSDS for ＳＰ-53W（W.N.SHAW & COMPANY INC.）

２．モールドリリース SP-53W　MSDS

３．NITE の GHS 分類データベース

４．IUCLID 2000 Dataset　ID:115-10-6

５．国際化学物質安全性カード　ICSC:0454

６．経済産業省　GHS 混合物分類判定システム（Ver.20070310）

７．安全衛生情報センターGHS モデル MSDS　ジメチルエーテル

８．WHO/FAO Pesticide Data Sheets

分類根拠

急性毒性（経口）

加算式:区分外

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：LD50=不明、濃度=5%、

エタノール：LD_{50}=∞(分類が区分外であるため)、濃度=0.9%、

非開示成分：LD_{50}>2000、濃度=1.2%、

水：区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル：LD_{50}=不明、濃度=37%、

計算式 (100-毒性値不明の成分の濃度合計)/(判定対象製品の毒性値)=(各成分の濃度/各成分の毒性値)の合計 より得られた毒性推定値 154494.9401 が 5000 より大きいため、区分外とした。

急性毒性（経皮）

加算式:区分外

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：LD_{50}=不明、濃度=5%、

エタノール：LD_{50}=不明、濃度=0.9%、

非開示成分：LD_{50}>2000、濃度=1.2%、

水：区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル：LD_{50}=不明、濃度=37%、

計算式 (100-毒性値不明の成分の濃度合計)/(判定対象製品の毒性値)=(各成分の濃度/各成分の毒性値)の合計 より得られた毒性推定値 163212.7705 が 5000 より大きいため、区分外とした。

急性毒性(吸入:気体)

GHS 分類の液体に該当するため、分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気)

加算式:区分５

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：LC_{50}=不明、濃度=5%、

エタノール：区分外、濃度=0.9%、

水：区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル：LC_{50}=308mg/kg、濃度=37%、

非開示成分：分類できない、濃度=1.2%、

計算式 100/（判定対象製品の毒性値）=（各成分の濃度/各成分の毒性値）の合計 より得られた毒性推定値 882.4324 が 5000 以下であるため、区分５とした。

急性毒性(吸入:粉塵およびミスト)

加算式:区分外

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：LC_{50}=不明、濃度=5%、

エタノール：区分外、濃度=0.9%、

水：区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル：区分外、濃度=37%、

非開示成分：分類できない、濃度=1.2%、

計算式 100/（判定対象製品の毒性値）=（各成分の濃度/各成分の毒性値）の合計 より得られた毒性推定値∞が 5000 より大きいため、区分外とした。

皮膚腐食性／刺激性

加成性:区分3

ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル:区分2、濃度=5%、

エタノール:区分外、濃度=0.9%、

水:区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル:区分外、濃度=37%、

非開示成分:分類できない、濃度=1.2%、

区分1の濃度の合計:0%

区分2の濃度の合計:5%

区分3の濃度の合計:0%

判定3「(区分2の成分の濃度合計)が 10%以上」を満たさない。

判定4「(区分1の成分の濃度合計)× 10 ＋(区分2の成分の濃度合計)が 10%以上」を満たさない。

判定5「(区分2の成分の濃度合計)が 1%以上 10%未満」を満たす。

以上より区分3とした。

眼に対する重篤な損傷/刺激性

加成性:区分外

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：皮膚刺激性=区分２、眼刺激性=区分２Ａ、濃度=5%、

エタノ-ル：皮膚刺激性=区分外、眼刺激性=区分２Ａ、濃度=0.9%、

水：皮膚刺激性=区分外、眼刺激性=区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル：皮膚刺激性=分類できない、眼刺激性=分類できない、濃度=37%、

非開示成分：皮膚刺激性=区分外、眼刺激性=区分２Ａ、濃度=1.2%、

皮膚刺激性　区分１の濃度の合計：0%

眼刺激性　区分１の濃度の合計：0%

眼刺激性　区分２Ａの濃度の合計：7.1%

眼刺激性　区分２Ｂの濃度の合計：0%

判定６　「（眼刺激性区分２Ａの成分の濃度合計）が 10%以上」を満たさない。

判定７　「（眼刺激性区分１の成分の濃度合計）× 10 ＋（眼刺激性区分２Ａの成分の濃度合計）が 10%以上」を満たさない。

判定９　「｛（眼刺激性区分１の成分の濃度合計）＋（皮膚刺激性区分１の成分の濃度合計）｝× 10 ＋（眼刺激性区分２Ａの成分の濃度合計）＋（眼刺激性区分２Ｂの成分の濃度合計）が 10%以上」を満たさない。以上の条件をすべて満たさなかったため、区分外とした。

呼吸器感作性

データが無いため分類できない

皮膚感作性

データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性

カットオフ値:区分1A

ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル:区分外、濃度=5%

エタノール:区分1B、濃度=0.9%

水:区分外、濃度=55.9%

ジメチルエーテル:区分外、濃度=37%

非開示成分:分類できない、濃度=1.2%

区分1に分類されるエタノール成分がカットオフ値 0.1%以上含まれるため、区分1とした。

発がん性

データ不足のため分類できない。

生殖毒性

カットオフ値:区分1A

ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル:区分2、濃度=5%

エタノール:区分1A、濃度=0.9%

水：区分外、濃度=55.9%

ジメチルエーテル：分類できない、濃度=37%

非開示成分：分類できない、濃度=1.2%

区分1に分類されるエタノール成分がカットオフ値 0.1%以上含まれるため、区分1とした。

特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)

カットオフ値:区分3（麻酔作用）

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：濃度=5%、分類できない

エタノール：濃度=0.9%、区分3（気道刺激性、麻酔作用）

水：濃度=55.9%、区分外

ジメチルエーテル：濃度=37%、区分3（麻酔作用）

非開示成分：濃度=1.2%、分類できない

区分3に該当するジメチルエーテルが 20%以上含まれるため、区分3。

判定結果：　区分3（麻酔作用）

特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）

カットオフ値:区分2

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：濃度=5%、区分2（肝臓、心血管系）

エタノール：濃度=0.9%、区分1（肝臓）、区分2（神経）

水：濃度=55.9%、区分外

ジメチルエーテル：濃度=37%、分類できない

非開示成分：濃度=1.2%、分類できない

区分2に該当するポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル成分が 1%以上含まれているため、区分2に分類できる。

判定結果：　区分2（肝臓、心血管系）

吸引性呼吸器有害性

製品の動粘性率が不明のため分類できない。

水生環境有害性（急性）

加算式:区分2

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：区分1、LC_{50}=0.11、EC_{50}=不明、濃度=5%、毒性乗率(M)=1

エタノール：区分外、LC_{50}=5463.9、EC_{50}=不明、濃度=0.9%、

水：区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル：区分外、LC_{50}=4100、EC_{50}=不明、濃度=37%、

非開示成分：区分2、LC_{50}=不明、EC_{50}=不明、濃度=1.2%、

区分1の濃度の合計：5%　毒性乗率による換算値=5

区分2の濃度の合計：1.2%

区分3の濃度の合計：0%

カットオフ1「区分1の成分の濃度合計が 25%より大きい」を満たさない。

カットオフ2「（区分1の成分の濃度合計）× 10 ＋（区分2の成分の濃度合計）が 25%より大きい」を満たす。

以上より区分2とした。

水生環境有害性（慢性）

加算式:区分外

ポリ（オキシエチレン）=ノニルフェニルエーテル：分類できない、LC_{50}=不明、EC_{50}=不明、濃度=5%、

エタノール：区分外、LC_{50}=不明、EC_{50}=不明、濃度=0.9%、

水：区分外、濃度=55.9%、

ジメチルエーテル：区分外、LC_{50}=不明、EC_{50}=不明、濃度=37%、

非開示成分：区分２、LC_{50}=不明、EC_{50}=不明、濃度=1.2%、

区分１の濃度の合計：0%

区分１の濃度の合計：0% 毒性乗率（M＝１）による換算値

区分２の濃度の合計：1.2%

区分３の濃度の合計：0%

区分４の濃度の合計：0%

カットオフ２ 「(M×区分１の成分の濃度合計）× 10 ＋（区分２の成分の濃度合計）が 25%より大きい」を満たさない。

カットオフ３ 「(M×区分１の成分の濃度合計）× 100 ＋（区分２の成分の濃度合計）× 10 ＋（区分３の成分の濃度合計）が 25%より大きい」を満たさない。

カットオフ４ 「(区分１の成分の濃度合計）＋（区分２の成分の濃度合計）＋（区分３の成分の濃度合計）＋（区分４の成分の濃度合計）が 25%より大きい」を満たさない。

以上の条件をすべて満たさなかったため、区分外とした。

※ この資料は参考用に作成されたもので、内容を保証するものではありません。
ご使用される場合は、自己の責任でご使用ください。

以上